



小田原城北 ロータリークラブ

DISTRICT No.2780 KANAGAWA JAPAN

例会場及事務所

毎週 火曜 12時30分
〒250-0211
小田原市鬼柳172-9
小田原卸センター内会議室
TEL 0465-37-1222
FAX 0465-37-7377
http://www.odawarajhrc.jp
E-MAIL :info@odawarajhrc.jp



会 長 中村 維孝 幹 事 竹村堅一郎
副 会 長 露木 清勝 副 幹 事 金山 慶昭
クラブ会報委員会 大川 誠委員

BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS 地域を育み、大陸をつなぐ

第1697回

点 鐘 中村 維孝会長
司 会 金山 慶昭副幹事
斉 唱 「それでこそロータリー」

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
3月29日	52(48)	43	1	91.67%
3月22日	52(48)	37	1	83.33%
3月15日	52(48)	38	0	79.17%

【出席報告】菊地 義雄委員

【欠席者】 5名

竹村 堅一郎・木村 頼弘・佐須 智明・木村 啓滋
所 眞人

【今回メーキャップ】

竹村 堅一郎(地区)

【前回メーキャップ】

村瀬 雅實(小田原RC)

【ピジター】

井上 三郎(小田原RC)

《慶事祝福》

【誕生日】

小川 和夫(4月2日)

杉山 市好(4月4日)

【結婚記念日】

勝亦 常隆(3月29日)・河野 秀雄(3月30日)

木村 啓滋(3月31日)・小川 和夫(4月1日)

鈴木 友徳(4月1日)

【奥様誕生日】

露木 博美様(4月2日)

会長挨拶

中村 維孝会長

今はとても不安な時代です。そんな中でクラブのメンバーの顔を見ると何か勇気が湧いてくるような気がします。この会を毎週大事にしていけたらなと思っております。計画停電等あり、一時的に出来ない事もあるかもしれませんが、出来る限り集まれるようにしていきたいと思っております。さて、先週の火曜日にロカ君が最後のご挨拶に例会に参りましたけれど、その日の夜、有志の皆様が顔を見たからにはやはり最後祝って送り出したい。という事で、急きょ停電の中ささやかではございますが歓送会を催していただきました。そこでロカ君のお礼の言葉を聞いたのですが、本当に感動する挨拶をロカ君にして

2011年3月29日(晴)第1541号

いただき、当クラブで米山のカウンセラーをして良かったなと感じました。さて先週の土曜日、急なお願いにも関わらず救済物資を多くの会員様にお届けいただきましてありがとうございました。被災者は数十万人いらっしゃるわけで、砂漠に水のようなものかもしれませんが、出来る事からしていくことが大事だと思います。また、義援金につきましても先週お願いをしたとおり各事業所、各店頭にて活動をしていただきまして、今日も多くの皆様に義援金をお持ちより頂いております。この義援金は一時的なものでなくて、これからずっと続けて行いたいと思っております。今回の災害は復興には数年かかると思っております。私達の出来る事は少しでも出来る限りやって行こうと思っておりますので、よろしくお願いたします。

さて今日、残念な報告ですが事務局の霜田さんの最後の例会になります。またどこかでお会いした時には声をかけて頂きたいなと思っております。



そして、チャーターメンバーで35年当クラブにてメンバーとして活躍されました宝子山さんが体調の関係で退会をされたわけですが、最後に皆様に退会のご挨拶をしたいと思いつながら、なかなか叶わなかったということで、先日退会の記念品を渡しに行ってまいりました節にビデオレターを撮らせていただいてまいりました。宝子山さんのご挨拶ご覧になって下さい。皆様にくれぐれもよろしくとのことでした。

幹事報告

金山 慶昭副幹事

4月からロータリーレートが1ドル80円になります

委員会報告

35周年実行委員会 石崎 孝委員長

この度の大震災で4月10日に予定されておりました35周年の記念式典は中止になりましたが、今日まで実行委員会を重ねてまいりまして、本日が最終の実行委員会を例会終了後に開催させていただきたいと思っております。

菊地 義雄委員

今回、李雲山ご夫妻からお見舞いの電話がありまして、その時に義援金を出したいということで頂きましたのでご報告させていただきます。

露木 清勝副会長

先週の金曜日に小田原ロータリークラブの方から支援物資を輸送する車の手配が出来たという事で急きょ支援物資を依頼され、即刻メール、Fax等でご連絡させていただきました。大変多くのメンバーが 物資を持って来ていただきまして本当にありがとうございました。お陰様で10トントラック1台分をその日のうちに送ることができました。そしてもう1点ご報告ですが、先週の水曜日に地区ロータリーアクトの福本壘地区代表とか何人かと懇談する機会があったのですが、ボランティアとして東北の方に赴きたいと語られておりました。我々ロータリー家族の若者も一生懸命やっていたいております。

辻村 彰秀次年度幹事

4月12日の例会終了後に第2回準備理事会が開かれますので、関係者の方はご出席のほどよろしくお願いいたします。それと4月17日のPETSはなくなりましたが、地区協議会はそのままございますので出席依頼をされました方は必ず出席をお願いします。

ニコニコ箱

釘持 悟委員長

杉山 市好さん お誕生日のお祝い、ありがとうございます。4月4日、56才となります。

小川 和夫さん 結婚記念日、誕生日のお花ありがとうございます。これから偕老同穴の契りを結びます。

河野 秀雄さん 結婚記念日のお祝い、ありがとうございます。ロータリーを理解してくれる良き妻に感謝!!

露木 清勝さん 妻の誕生日を祝っていただき、ありがとうございます。また26日には、大震災支援物資を多くのメンバーにご協力いただきありがとうございます。

井上 寛さん 急な呼びかけにもかかわらず3/26には第9グループ8クラブの大勢の皆様にご協力をいただき、沢山の支援物資を気仙沼に送ることができました。ありがとうございます。

中村 維孝さん 1. 米山奨学生ロカ君を停電の中、送別会を開いていただいた有志の皆様ありがとうございます。心に残るロカ君のあいさつを聞き感動しました。

2. 26日、急な処の支援物資のお願いに多くの会員に承えていただき心より御礼申し上げます。

小林 泰二さん 去る26日に元交換学生、李ワンチの結婚式で、共に招かれた河野、清、両ご夫妻には大変お世話になりました。

小林 泰二さん 本日付けで退職なさる霜田さん、いろいろお世話になりました。どうぞ、お元気で!!

河野 美栄子様 主人が城北RCに席を置かせていただいているおかげで3月26日に交換学生だった李ワンチさんの結婚式に出席でき、本当に色々な経験をさせていただきありがたいと思っております。とてもステキな結婚式でした。

河野 秀雄さん ロータリークラブ国際奉仕プログラム青少年交換元奨学生、台湾の李ワンチが素敵な日本人と結婚しました。26日に妻と共に出席して参りました。ワンチの泣(なみだ)を見ました。良い披露宴でした。ご両親も安心なすった様子でした。

清 康夫さん 3月26日(土)リーガロイヤルホテル東京において、10年前に当クラブで世話をした交換学生の(李・ワンチ)の結婚式に日本のお父さん・お母さん(小林・河野夫妻・清夫妻)5名で参列しました。私達はホストファミリーとして約1年間預かりました。ワンチは証券会社に就職、その後、横浜大学に入学、この時に交際を始めて8年、この度の結婚となりました。河野さんが3ヶ月、私の所で8ヶ月共に生活、何か娘が結婚するようで嬉し涙が出てしまいました。新郎の中田さんは味の素の会社に勤務し、イノベーション研究室にて製品開発や工場のブランド開発をしている好青年でした。ロータリーを通してワンチと知り合えたことに感謝して少々ですが。

齋藤 永さん 先日はロカ君の送別会に参加していただき、ありがとうございます。ロカ君も大変喜んでいました。みんなが帰って、少し話しをしていましたが、最後に別れる時、目頭が熱くなる思いでした。

久保田 知子さん 本日はよろしくお願いたします。若者の生の声をお聞かせできなくて残念ですが、私が変わりに報告させていただきます。

釘持 悟さん 東北・関東大地震関連の記事がマスコミを賑わしており、改めて被害にあわれた方々のご冥福をいのります。さて福島県原発事故の報道は情報公開の行き過ぎのような気がしております。「云々シーベルト」とか数字を出しても、人体に影響ない程度であるなら、専門家のなかでの議論にとどめていただきたい。ある意味民衆レベルの不安を煽ることにまで拡大していつているように思います。それでは車社会の現在、CO₂云々が叫ばれて久しいですが、それを我々は毎日吸っているわけです。その事実を過去の社会生活にフィードバックできますか?吉幾三の歌ではないが「おら~こんなのいやだ」ということで不可能に近い話です。でも、確かにこの数字も大切なことなのでこれを機に環境が、便利さが改めて問い直す時期に来たのでは?

卓 話



35周年記念事業発表

「チャリティープロジェクト&新世代育成委員会」

久保田 知子

本日は、記念事業発表として予定していた新世代のためのパネルディスカッションの内容をご披露させていただきます。まず初めに、交流会の趣旨につ

いてお話させていただきます。2006年4月15日、大磯プリンスホテルにて現ガバナー補佐であります井上寛会長のもと、創立30周年記念式典が挙行されました。その時、井上会長は、テーマとして「地域に根ざし、世界に拓く」を提唱されました。早いもので5年が経過し、35周年を迎える事になりました。井上年度に受け入れをしました。フランスからの青少年交換留学生、クリステル・ブッチさんを契機に、その後クラブをスポンサーとして、2007年度から2008年度に諏訪間陽子さん、2009年度から2010年度に島田綾子さんが青少年交換学生としてフランスへ留学いたしました。現地のロータリアンの家にホームステイをし、学校に通いながら、いろいろな体験をし、大きく成長され帰国。現在はそれぞれ勉学に励んでおられます。2009年5月から6月にかけて、GSEメンバーとしてベルギー・ルクセンブルクに内館愛さんを派遣させていただきました。現在は小田原市市民部文化交流課に勤務しております。2008年度から2010年度には、東京工芸大学工学部建築学科で学ぶモンゴルの米山奨学生のガンゾリグ・ロブサンジャムツ君のお世話をいたしました。1995年4月25日、当クラブの創立20周年の記念事業として、小田原城北ロータリーアクトクラブを設立・提唱し、我がクラブと共に15周年を迎える事が出来ました。また、2009年10月27日には、卒業した多くのロータリーアクトを結集した「絆友会」を発足しました。初代会長は、宮嶋久徳さんをお願いいたしました。彼らには、後輩のサポートは勿論のこと、将来我がロータリークラブのメンバーとして活躍し、卒業生の良いお手本となる事を望みます。以上が大まかではありますが、創立30周年以降35周年までの新世代育成奉仕活動の経緯でございます。

創立35周年のテーマとして、中村維孝会長は「夢は未来を創る」を提唱されました。当クラブとかかわりをもったロータリーファミリーの皆様が、新世代のプログラムに参加され、多くの夢と希望を持たれたことと思います。新世代の多くの方々「夢を持ち、夢をかたちにし、未来をつくる」お手伝いが出来れば幸いです。また、今年度RI会長のテーマは「地域を育み、大陸をつなぐ」を提唱されました。今後は、新世代育成プログラムの活動を通じて、国際理解が深まり、善意と親善の心で大陸につながり、平和が広がりますように、新世代育成活動を積極的に行ってまいりたいと考えています。今後とも皆様には、ご指導・ご理解をお願い申し上げます。

ここで1点ご報告があります。青少年交換留学生の諏訪間陽子さんが今年の8月にモンゴルへの留学が決まりました。先日、ロカ君と顔合わせをいたしました。またここで青少年交流の幅が広がったかなと思っております。

チャリティープロジェクト 志澤 昌彦リーダー

チャリティーの模様をDVDにまとめておりますのでご覧ください。最終版は35周年の記録としてまとめます。

次回4月12日は松田消防団長 鍵和田儀一様による「被災地の現状『陸前高田市』」です。